



有限会社 吉田工業

vol.19

2024年7月15日発行





工務部 工事課長

IGARI YUUJI 猪狩 裕二

工務部で工事課長を務めている猪狩裕二さんは、2014年に有限会社吉田工業へ中途入社しました。これまでさまざまな案件を担当しながら、工事課長としてメンバーを力強く引っ張ってきた猪狩さん。どのように、モチベーションを維持して働き続けてきたのでしょうか。これまでの歩みを振り返りながら、猪狩さんの仕事に対する思いに迫ります。

これまでのご経歴と、

現在担当している

業務について

教えてください。

高校を卒業してから、ずっと建設業界に携わってきました。吉田工業に入社する直前は協力会社で働いていましたが、事情があり転職を決断。その際、以前から面識があった吉田社長に相談すると、「吉田工業で働かないか」と誘っていただき、入社に至ったのです。

入社以来工務部に所属しており、現在は主に原子力発電所の耐震補強工事に携わっています。

印象に残っている

仕事について

お聞かせください。

一番印象に残っているのが、新潟県にある上越火力発電所の工事。この現場では、吉田工業としては珍しく配管施工の管理業務を行いました。現地に行ったらメンバーも、全員が初めての経験だったため、苦労が多かったのを覚えています。管理業務では、作業工程の組み立てや協力会社への指示出し、進捗のチェックなどを行わなければなりません。また、それらの作業はパソコンで管理しているのですが、まずはシステムの使用方法から覚えていく必要がありました。普段パソコンを使わないため、吉田社長に教えていただきながら、なんとか無事に習得。同

時に、現場に出て実際に施工も行わなければならず、毎日が慌ただしく過ぎていきました。

また、急なスケジュール変更も多々ありました。お客様からのご要望だったため断れず、どうにかしてニーズに応えようと効率的に作業を進め、完遂した際にはホッとしましたものです。

モチベーションを維持するコツはありますか。

私はいつもプライベートでの楽しみを持つようにして、仕事のモチベーションを上げています。たとえば、40歳になったのを機に、なにか新しい趣味を持ちたいと思つて選んだのがバイク。2023年7月に普通自動二輪免許を取って乗り始めました。続けて、2023年11月には大型二輪免許

も取得。まだ大型バイクは購入していませんが、次は免許を活かせるような大きなバイクの購入を目標に、仕事に励んでいくつもりです。吉田工業の中にもバイクが好きな社員が多いため、ぜひ一緒にツーリングを楽しみたいと思っています。

業績を上げるために行っている取り組みはありますか。

業績を上げるには、案件を受注する必要があります。そのためにも、目の前にある進行中の案件に丁寧に取り組んでいかなければなりません。また、無事故・無災害で現場を終わらせて、お客様から信用していただくことが、次の案件の受注につながっていくのではないのでしょうか。

最後に、今後の目標や若手社員へのメッセージをお願いします。

今後の目標は、これからも安全第一で施工をすること。そのためには、現場でのコミュニケーションを大切にしていきたいと考えています。現場では重量物を扱っため、危険な場面も少なくありません。その際に、仲間同士でしっかり声をかけ合える関係性が築けていないと、事故のリスクは増えてしまうでしょう。より安全性を高めるためにも、コミュニケーションの活性化に向けて取り組んでいきます。

若手社員の皆さんには、わからないことは積極的に聞いてほしいと思います。しかし、上司やベテラン社員には、話しかけにくいという方が多いかもしれません。な

るべく話しかけやすい雰囲気作りに努めているため、ぜひ一歩踏み出してみてください。もちろん、先ほどもお伝えしたように、私からも皆さんと積極的にコミュニケーションを取っていくつもりです。

風通しのいい職場作りに注力し、無事故・無災害を目指している猪狩さん。これからも仕事への情熱を胸に、現場へと足を運びます。

企業情報

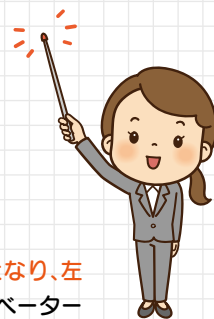
設立年：1987年5月12日

年商：12億円

※2023年3月時点

今さら聞けない……！ ビジネスマナーの 基礎

社会人には欠かせないビジネスマナー。わかっているつもりでも、抜けている部分があるかもしれません！この機会に改めて正しい知識を身につけ、ワンランク上の社会人を目指しましょう！



● 基礎のマナー

- 挨拶は「元気に笑顔で」が基本
現場や会社を離れる際は「行ってきます」、戻ったら「ただ今戻りました」も忘れずに。
- 会話や文面では適切な言葉をチョイス
相手企業を指す言葉…会話では「御社」、メールなどの文章では「貴社」
自社を指す言葉…会話・文章どちらでも、取引先に対しては「弊社」、社内では「当社」を使うのが基本。
- 相手が役職者の場合、「役職」+「様」はNG
役職名にはすでに敬意の意味が含まれているため敬称はつけなくてOK！

● 名刺の渡し方

名刺交換をスマートに行うことで、相手にも好印象を与えます。

- ① 名刺交換は立って行う
- ② 名刺は相手が読みやすい向きに正して渡す
名刺を名刺入れに乗せて両手で持ち、差し出したら会社名、フルネームを名乗りましょう。
- ③ 受取は両手で！指で相手の名前や会社のロゴを隠さないように注意
受け取った名刺は自分の名刺入れの上に重ね、机の上の左側に置きましょう。

● 上座・下座のルール

席次は、「左上右下(さじょう・うげ)」が基本となり、左が「上座」、右が「下座」になります。しかし、エレベーターでは操作盤の位置で「上座」「下座」の位置が変わるため、注意が必要です。操作盤の前が末席となり、その後ろが「上座」になります。また、会議室やレストランなどでは、出入り口から最も遠い席が「上座」、出入り口に最も近い席が「下座」です。目上の人やお客様には「上座」を案内し、自分は「下座」に座りましょう。自分が招待された側なら、相手に勧められた席に座るのがマナー。会議室では机の配置や議長席の場所によって位置が変わるので注意しましょう。

上座の中にも順位があります。この図を見て確認しましょう！

机の配置が
「口の字型」
の場合



机の配置が
「コの字型」
の場合



● 報連相の重要性

小さなミスでも報告を怠れば重大な事故に繋がる可能性があります。些細なことでも、報告・連絡・相談をすることで、事故が起こる前に対処可能です。日々の安全を確保するため、常に「報連相」を意識しましょう。

報連相のポイント

- 報告は結論が先！経緯説明は後！
- 伝えるときは事前に要件を整理してから
- 曖昧な表現を避け、状況を正確に伝える
- 悪い情報ほどすぐに報告！

例えば、保守点検時に点検漏れがあった場合、すぐに伝えなかったために未点検箇所の不具合が発生するかもしれません。「なぜ点検漏れがあったのか」という理由よりも、「点検漏れがあった」という事実を迅速に伝える必要があります。日頃から報連相を徹底することで、多くの事故を防げるのです。

● 敬語の基本

お客様や社外の人には全て敬語を使いましょう。社外の人と話すとき、自社の者に対して敬語は使いません。また、つい使ってしまうバイト敬語にも注意が必要！

✕ バイト敬語	○ ビジネス表現
これでよろしく <u>かった</u> でしょうか。	こちらでよろしいでしょうか？
30分程お待ちいただく <u>形</u> になります。	30分程お待ちいただけますか？
こちらが説明書に <u>なります</u> 。	こちらが説明書でございます。

● 謝罪時の言葉遣い

謝罪をするときは、「ごめんなさい」ではなく、「申し訳ございません」や、「大変失礼いたしました」など、丁寧な言葉使いを意識しましょう。また、**言い訳や説明からではなく、まずは謝罪の言葉を伝えることが大切です**。そして、原因と今後の対策を伝え、最後に改めてお詫びの言葉を述べることで、より誠意が伝わりやすくなるでしょう。

謝罪の言葉の一例

- 取引先への謝罪
「ご不快な思いをさせてしまい、誠に申し訳ございません。今後は対策を徹底し、再発防止に取り組んでまいります」
- 上司や先輩への謝罪
「申し訳ございません。私の確認不足でした。今後このようなことがないよう、確認を徹底いたします」

稲吉さんに聞く!

営業職の皆さんの

神対応

現場で働く方々を後方から支援する事務職の皆さん。仕事上のスキルだけでなく、現場に役立つさまざまな「強み」もお持ちのこと!取締役の稲吉さんに、事務員・羽深さんの対応力の素晴らしさについて伺いました。



私が紹介します!

取締役 上越事業所
所長 人事部長

いなよし こういち

稲吉 甲一さん

現在上越事業所には1名の事務職の方がいます。事務職の方には、日々見積もりや施工関連のデータ書類化などを担当してもらっていて、そのスピードや正確性にいつも助けられています。今回は、業務のこと以外で感謝しているエピソードを2つで紹介합니다。

紹介されるのはこの方!



人事部 事務

はぶか かおり

羽深 香織さん

繁忙期に夜食の用意!現場の士気も高まる

建設の現場が忙しかった頃、夜食でおにぎりやサンドイッチなどを用意してくれたことがありました。残業を終え、現場から帰ってきた私たち

を笑顔で出迎えてくれることや、夜食などの細やかな心遣いが本当に嬉しく、ホッとすることができます。

機械操作の資格を活かしヘルプ要員として活躍

羽深さんはクレーンやフォークリフトの資格も保有。数年前に資格を取ったそうで、現場でオペレーターの人数が足りないときなど、ヘルプ

に出てもらっています。今回上越事業所では大きい工事に着手しているため、数週間のうち何日か、現場を助けてもらっています。

>>> 稲吉さんから羽深さんへメッセージ <<<

同じ頃に入社して3年近く経ちます。羽深さんは周りを本当によく見えていますし、細やかな心遣いと笑顔にいつも助けられています。

現場のフォローまで、本当にありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

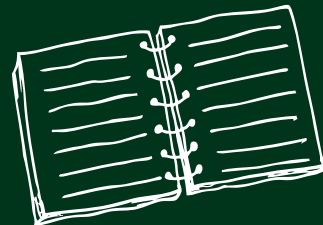
取材を通して発見した稲吉さんの神対応もご紹介します!

事務職の方を リスペクトする気持ち

業務のことはもちろん、業務以外のことでも日頃からやり取りをしており、深く感謝の気持ちをしていることがよく

伝わります。大変な仕事を押し付け合うのではなく、お互いに尊重して仕事を進めていく姿は素晴らしいですね。

しくじり先生



ベテラン社員の失敗から学ぼう

今回の
しくじり先生!

工事一課 火力担当部門
主任

やまぐち くにひろ

山口 国広さん



過去の大失敗エピソード

1人で無理な作業を行い 積荷が落下! 全治3週間の大怪我に……

今から7~8年前、まだ私が入社して間もない頃の話です。積荷を吊ろうとした際になかなか上手くいかず、ワイヤーを調節している間にバランスを崩してしまいました。そして落ちてきた積荷が自分の足に直撃。骨折とまではいかなかったものの、そこから3週間はまともに現場に入れませんでした……。本来2人でやるべき作業を、人が足りないからと1人で行ってしまったことが原因です。結果的に、皆さんにご迷惑をおかけすることになってしまい、とても反省した出来事でした。



そこから得た教訓

自分を過信せず、 共同作業を大切に

とにかく、無理な仕事をしないということです。本来複数人で行うべき作業を、「人がいないから」と1人でやろうとするのは、本当に危険なのだと身を持って感じました。慣れた作業であっても、自分を過信せず、しっかりと共同作業のルールを守る。それが一番安全で効率的なのだとわかり、その後は注意するようにしています。

この経験を踏まえて
後輩社員へメッセージ

ルール厳守! 仲間と声を掛け合い、 余裕を持って作業を進めよう

いかなるときも、余裕を持った作業が大切です。作業人数もそうですが、例えばゴーグルを装着して行うべき作業など、決められたルールはしっかり守るようにしましょう。「これでいいだろう」という油断は禁物!ふとした気の緩みが大きな怪我に繋がります。複数人で作業をする際は、「今からこれをするよ」「ここに下ろすよ」など、お互いに声を掛け合うことで、安全な現場を作っていきましょう。

誰も失敗から学び、成長していくものです。

今回は、ベテラン社員のお二人に、今だから話せる過去の大失敗エピソードを教えてくださいました！
少しの油断が大きな事故に繋がる現場。先輩方の教訓を参考に、気を引き締めていきましょう！

今回の
しくじり先生！

建設工事担当部門

さとう ようじ
佐藤 洋二さん



過去の大失敗エピソード

クレーンのリモコンを 踏み誤作動、ワイヤーが落下

入社7年目のとき、ポンプの分解手入れを行い、組み上げを行うための作業をしていた際の出来事です。玉掛けに使用するクレーンのリモコンが床に置いたままになっていたことに気が付かず、リモコンを足で踏んでしまい、誤作動を起こしワイヤーが落下。これから組み上げる部品の軸の部分に、傷がついてしまいました。この部品に傷がついたり壊れたりすると、工場に持ち帰り再度新しいものを持ってこなければならず、機械の組み込みや動作の日程がずれ込むこととなります。当時は幸い現地で直すことができましたが、もし工場に送ることになっていた場合は、工期がストップしかねない状況でした。

そこから得た教訓

リモコンは必ず高所に置き、 落ち着いて作業を

操作を行うリモコンは、床や足元には置かず、必ず少し手を伸ばす高い場所に置くことを徹底するようになりました。またワイヤーを外す際など、玉掛けの作業も以前より一層気をつけながら行うようになりました。特にワイヤーを引っ掛けたまま物を上げてしまうと、傷を付ける恐れがあるため、ワイヤーがきちんと外れたことを確認するようにしています。このほか、**当時床にリモコンが置きっぱなしになっていた原因として、現場が忙しく皆がバタバタしていたことが挙げられるため、作業をする際は、一呼吸置いてゆっくりと行うことを意識するようになりました。**



この経験を踏まえて
後輩社員へメッセージ

仕事を覚えてきた中堅は
特に注意！確認を徹底

一つひとつの作業を、ゆっくり落ち着いて行うようにしてください。何事も焦ると確認を怠り、ミスが起きやすくなります。新人のうちは基本的に指示を受けて作業を行います**が、仕事に慣れてきて、工期などを意識するようになる中堅の人は要注意です。**工期に間に合わせるため慌ただしくなると、注意散漫になるため、是非気をつけながら作業を行うようにしてください。

